



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月10日

上場会社名 株式会社 T Y K
 コード番号 5363 URL <http://www.tyk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 牛込 伸隆
 (氏名) 北原 謙
 TEL 0572-22-8151

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	6,947	13.8	828	31.8	1,173	56.4	622	59.3
2022年3月期第1四半期	6,102	12.5	628	84.9	750	79.5	391	92.4

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 899百万円 (93.2%) 2022年3月期第1四半期 465百万円 (12.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	14.08	
2022年3月期第1四半期	8.85	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	47,746	37,506	67.8	731.55
2022年3月期	47,308	36,827	67.3	719.27

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 32,363百万円 2022年3月期 31,814百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		4.00		4.00	8.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		4.00		4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,000	1.6	1,618	3.2	1,778	2.4	894	6.1	20.21
通期	26,000	0.4	3,235	4.6	3,555	0.0	1,788	3.2	40.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	45,477,000 株	2022年3月期	45,477,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年3月期1Q	1,236,890 株	2022年3月期	1,244,990 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期1Q	44,234,648 株	2022年3月期1Q	44,187,129 株
------------	--------------	------------	--------------

(注)期末自己株式数には株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式(2023年3月期1Q 192,300株、2022年3月期 200,400株)が含まれております。また株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2023年3月期1Q 197,762株、2022年3月期1Q 245,367株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は添付資料3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年6月30日)におけるわが国の経済情勢は、新型コロナウイルス感染症(以下、感染症)の影響が継続する中、ワクチン接種の促進に伴い国内経済活動の正常化が徐々に進みましたが、新たな変異株による感染症の再拡大に円相場の下落や物価の上昇等も加わり、依然として厳しい状況が継続するものと考えられます。世界経済においても、景気悪化から持ち直し、経済活動を正常化する動きが見られますが、長期化するウクライナ情勢の動向による原材料・エネルギー・運輸等諸価格の高騰に起因する経済・鉄鋼需要の下振れリスクが懸念されるほか、感染症の再拡大や世界的な保護貿易主義の高まり、中国不動産バブル崩壊の可能性といったリスクもあり、先行きの見通せない状況が継続するものと思われま

す。当社グループ(当社及び連結子会社)の主要取引先であります国内鉄鋼業界における当第1四半期連結累計期間における粗鋼生産量は前年同期比5.6%減の2,299万トンとなりました。このような状況のもと、当社グループは品質第一の考えのもとに売上増加と生産性向上に全力で取り組んで参りました。主力製品である製鋼用耐火物をはじめ、ファインセラミックス等の先端素材技術や環境創造技術へ挑戦し、コスト削減など経営合理化を進めて参りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間においては、次の通りの経営成績となりました。

売上高は、国内の粗鋼生産量が減少したものの、耐火物需要は堅調に推移したため、69億47百万円(前年同期比13.8%増)となりました。

利益面では、売上高の増加に伴う減価償却費等の固定費負担が減少したことなどにより、営業利益は8億28百万円(前年同期比31.8%増)、経常利益は11億73百万円(前年同期比56.4%増)となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、6億22百万円(前年同期比59.3%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次の通りであります。

①日本

国内の売上高は堅調な耐火物需要の推移により、48億88百万円(前年同期比7.1%増)となりました。セグメント利益は8億86百万円(前年同期比30.7%増)となりました。

②北米

北米の売上高も堅調な耐火物需要の推移により、7億8百万円(前年同期比21.8%増)となりました。また、セグメント利益は10百万円(前年同期比138.5%増)となりました。

③ヨーロッパ

ヨーロッパの売上高も堅調な耐火物需要の推移により、10億74百万円(前年同期比48.5%増)となりました。また、セグメント利益は51百万円(前年同期比32.4%増)となりました。

④アジア

アジアの売上高も堅調な耐火物需要の推移により、1億94百万円(前年同期比31.4%増)となりました。また、セグメント利益は36百万円(前年同期比87.4%増)となりました。

⑤その他

その他の売上高は80百万円(前年同期比5.2%減)となりました。また、セグメント利益は7百万円(前年同期比47.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

流動資産の残高は前連結会計年度末に比べ7億38百万円増加し、308億8百万円となりました。その主な要因は製品及び外注品の増加(4億28百万円)、受取手形及び売掛金の増加(3億81百万円)によるものであります。

(固定資産)

固定資産の残高は前連結会計年度末に比べ3億円減少し、169億38百万円となりました。その主な要因は投資有価証券の時価評価による減少(2億49百万円)によるものであります。

(負債)

負債の残高は前連結会計年度末に比べ2億40百万円減少し、102億39百万円となりました。その主な要因は賞与引当金の増加(3億89百万円)及び未払法人税等の減少(5億9百万円)によるものであります。

(純資産)

純資産の残高は前連結会計年度末に比べ6億79百万円増加し、375億6百万円となりました。その主な要因は利益剰余金の増加(4億45百万円)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年5月18日に公表いたしました業績予想の数値より変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,854,696	12,779,173
受取手形及び売掛金	7,955,545	8,337,148
製品及び外注品	3,938,153	4,366,467
仕掛品	1,640,625	1,716,518
原材料及び貯蔵品	3,336,374	3,444,114
その他	364,593	187,183
貸倒引当金	△20,561	△22,353
流動資産合計	30,069,427	30,808,253
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,073,715	2,059,559
窯炉、機械装置及び運搬具(純額)	2,268,206	2,191,852
土地	4,857,001	4,864,564
その他(純額)	495,148	533,392
有形固定資産合計	9,694,071	9,649,369
無形固定資産	90,052	90,724
投資その他の資産		
投資有価証券	7,008,138	6,758,833
繰延税金資産	316,358	308,062
その他	182,658	183,584
貸倒引当金	△52,512	△52,512
投資その他の資産合計	7,454,643	7,197,967
固定資産合計	17,238,768	16,938,061
資産合計	47,308,195	47,746,315

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,607,689	1,717,616
短期借入金	3,705,933	3,465,713
未払法人税等	863,354	353,572
賞与引当金	524,778	914,606
環境対策引当金	20,000	20,000
工事補償引当金	15,127	10,000
その他	852,393	907,460
流動負債合計	7,589,276	7,388,970
固定負債		
長期借入金	67,148	64,935
繰延税金負債	151,246	85,002
役員退職慰労引当金	840,417	850,177
退職給付に係る負債	1,766,644	1,784,860
その他	65,986	65,865
固定負債合計	2,891,444	2,850,840
負債合計	10,480,720	10,239,810
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,398,000	2,398,000
資本剰余金	2,491,100	2,491,100
利益剰余金	25,444,159	25,889,373
自己株式	△305,426	△302,793
株主資本合計	30,027,833	30,475,679
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,667,170	1,568,049
繰延ヘッジ損益	△563	—
為替換算調整勘定	120,436	320,041
その他の包括利益累計額合計	1,787,042	1,888,090
非支配株主持分	5,012,598	5,142,734
純資産合計	36,827,474	37,506,504
負債純資産合計	47,308,195	47,746,315

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	6,102,511	6,947,030
売上原価	4,496,273	5,075,671
売上総利益	1,606,237	1,871,359
販売費及び一般管理費	977,252	1,042,455
営業利益	628,985	828,903
営業外収益		
受取利息	586	710
受取配当金	78,002	142,285
不動産賃貸料	17,861	16,715
為替差益	21,074	180,618
助成金収入	5,802	1,989
その他	8,172	10,636
営業外収益合計	131,499	352,956
営業外費用		
支払利息	4,144	3,683
不動産賃貸原価	3,149	4,278
デリバティブ評価損	2,458	—
その他	28	14
営業外費用合計	9,780	7,975
経常利益	750,704	1,173,884
特別利益		
固定資産売却益	3,141	586
投資有価証券売却益	379	—
ゴルフ会員権売却益	—	1,886
特別利益合計	3,521	2,472
特別損失		
固定資産廃棄損	4,019	1,146
投資有価証券評価損	—	111,453
特別損失合計	4,019	112,600
税金等調整前四半期純利益	750,205	1,063,757
法人税等	238,652	315,292
四半期純利益	511,552	748,464
非支配株主に帰属する四半期純利益	120,536	125,520
親会社株主に帰属する四半期純利益	391,016	622,943

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	511,552	748,464
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△76,881	△98,175
繰延ヘッジ損益	1,644	563
為替換算調整勘定	29,458	249,128
その他の包括利益合計	△45,778	151,516
四半期包括利益	465,774	899,981
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	341,126	723,991
非支配株主に係る四半期包括利益	124,648	175,989

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント(耐火物関連事業)					その他 (注)	合計
	日本	北米	ヨーロッパ	アジア	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	4,564,102	581,457	723,629	148,306	6,017,495	73,794	6,091,289
その他の収益	—	—	—	—	—	11,221	11,221
外部顧客への売上高	4,564,102	581,457	723,629	148,306	6,017,495	85,015	6,102,511
セグメント間の内部売上高又は振替高	842,291	—	25,203	16,749	884,244	189,715	1,073,959
計	5,406,393	581,457	748,832	165,055	6,901,739	274,731	7,176,470
セグメント利益	678,392	4,466	38,762	19,450	741,072	13,645	754,717

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境関連製品、窯業機械器具、建築、修繕、運輸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	741,072
「その他」の区分の利益	13,645
セグメント間取引消去	△18,722
全社費用(注)	△107,010
四半期連結損益計算書の営業利益	628,985

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント(耐火物関連事業)					その他 (注)	合計
	日本	北米	ヨーロッパ	アジア	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	4,888,593	708,145	1,074,732	194,933	6,866,404	69,328	6,935,733
その他の収益	—	—	—	—	—	11,297	11,297
外部顧客への売上高	4,888,593	708,145	1,074,732	194,933	6,866,404	80,626	6,947,030
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,007,552	—	18,973	25,153	1,051,679	213,588	1,265,268
計	5,896,145	708,145	1,093,706	220,086	7,918,083	294,215	8,212,299
セグメント利益	886,545	10,649	51,308	36,451	984,955	7,237	992,192

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境関連製品、窯業機械器具、建築、修繕、運輸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	984,955
「その他」の区分の利益	7,237
セグメント間取引消去	△37,274
全社費用(注)	△126,014
四半期連結損益計算書の営業利益	828,903

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。